



2025年6月25日

各 位

会 社 名 昭和ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者  
此下 竜矢  
(コード番号 5103 スタダード市場)  
問合せ先 取締役兼最高執行責任者兼  
最高財務責任者 庄司 友彦  
(TEL. 04-7131-0181)

### 連結子会社異動に関するお知らせ

当社は、この度、連結子会社常盤ゴム株式会社（以下、「常盤ゴム」と言います。）から、同社の取締役として、当社、及び当社子会社等の役職員ではない第三者である2名を選任した旨の連絡を受けました。

常盤ゴムにつきましては、当社代表取締役社長兼最高経営責任者である此下竜矢が、その全株（議決権比率100%）を保有しており、且つ常盤ゴムの取締役の構成が当社取締役1名と当社子会社取締役1名からなる合計2名で占めていることから、当社との支配関係を有すると判断し、常盤ゴムを当社の連結子会社の範囲に含めておりました。

この度、常盤ゴムからの報告で 同社の取締役に、当社及び当社子会社等の役職員ではない第三者2名が新たに選任されることで常盤ゴムの取締役数が合計4名となり、その変更から当社と常盤ゴムとの支配関係に変化が生じる可能性があるかと認識しましたので、改めて当社の会計監査人と共に当社の連結の範囲の見直しを進めました。

その検討の結果、常盤ゴムにつきましては、当社及び当社子会社等の役職員により、その意思決定機関の過半数占められておらず、また、当社グループとの商取引等においても極めて限定的なゴム製品の少額の取引のみとなっております。このため、支配関係は認められないと判断いたしました。これにともない、当該常盤ゴムの取締役構成比について、当社及び当社子会社等の役職員で過半数を満たさなくなったことをトリガーとして、常盤ゴムを当社の連結子会社から除外することといたしましたのでご報告いたします。

#### 記

##### 1. 異動の理由

常盤ゴムは、1946年に設立し、ゴム/プラスチック等の樹脂/金属製品の加工や組み立て、卸売り等の商社業を営んでおります。

当社は常盤ゴムの株式を保有しておりませんが、当社代表取締役社長兼最高経営責任者である此下竜矢氏が常盤ゴム株式の全株（議決権比率100%）を保有し、常盤ゴムの取締役に此下竜矢氏と当社の子会社取締役の2名体制であり、従って当社及び当社子会社の取締役が常盤ゴムの意思決定機関の過

半を占めている（現状100%）ことから、当社と常盤ゴムの支配関係が認められると判断し、当社の持分はゼロではあるものの常盤ゴムを当社の連結子会社を含めておりました。

2025年6月24日、常盤ゴムから取締役2名を追加で選任した旨の連絡と当該決定をした株主総会議事録及び、登記申請書類の写し等の提示を受けましたので、当社と常盤ゴムの支配関係の変動の可能性を認識し、当社会計監査人（監査法人アリア）と当社連結の範囲について再考を進めました。

その結果、此下竜矢氏が常盤ゴム株式の全株（議決権比率100%）を保有し、当社が常盤ゴムの株式を保有していないことに変化はないものの、常盤ゴムの意思決定機関である同社取締役構成について、当社及び当社子会社の役職員の比率が過半数を満たさなくなったことにより、連結財務諸表に係る会計基準で定める連結の範囲の規定上、当社と常盤ゴムの支配関係は認められず、常盤ゴムが当社の連結の範囲から外れることを認識いたしましたので本件開示に至ったものです。

当社といたしましては、常盤ゴム連結の範囲から外れる影響についても、慎重に検討いたしました。が、主に下記4点の理由から、常盤ゴムを当社連結子会社から除外することにより、連結財務諸表上は、当社グループの本来のパフォーマンスを正しく表示できるものと判断しております。

- ① 当社は常盤ゴムの株式を保有していないことから、同社の経営に直接参画し、その経営判断に影響を与えることは、事実上不可能であること。
- ② 同社と当社グループのこれまでの取引は、極めて限定的なゴム製品の少額の取引のみとなっており、同社との取引の有無が、当社グループならびに同社の業況の大勢には影響がないこと。
- ③ 常盤ゴムが連結子会社から除外されることから、当社連結業績が減少する影響は避けられないが、そもそも当社の常盤ゴム株式の持分はゼロであり、投資家が想像する一般的な連結子会社の持株比率より相当に低い割合であることから、投資家等により、当社の連結業績や連結財政状況が過大に想像される可能性があったが、常盤ゴムの連結除外を行うことにより、こういった可能性を排除できること。
- ④ 当社は常盤ゴムの株式を保有していないことから、常盤ゴムを連結除外することによる当社連結純資産に与える影響はゼロであり、最終的に当社親会社株主に帰属する当期純利益に取り込める常盤ゴムの当期純利益もゼロであることから、常盤ゴムの連結除外を行っても実質的な影響はないこと。

## 2. 異動する子会社

(1)	名称	常盤ゴム株式会社	
(2)	所在地	東京都葛飾区奥戸2-37-15	
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役会長 此下 竜矢	
(4)	事業内容	ゴム/プラスチック等の樹脂/金属製品の加工や組み立て、卸売り等の商社業	
(5)	資本金	1185万円	
(6)	設立年月日	1946年5月10日	
(7)	大株主及び議決権比率 (2025年3月31日現在)	此下 竜矢 100%	
(8)	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当はありません。
		人的関係	当社の代表取締役社長兼最高経営責任者

			が同社の代表取締役会長を兼務し、当社連結子会社(昭和ゴム株式会社)の代表取締役社長が同社代表取締役社長を兼務しております。	
		取引関係	当社の連結子会社（昭和ゴム株式会社）が同社に対して8百万円(2025年3月度実績)の売上取引を有し、当社の連結子会社（昭和ゴム株式会社）は同社から15百万円（2025年3月期実績）の仕入取引を有しております。	
(9)	当該会社の直近3年間の経営成績及び財政状態(単位 百万円)			
	決算期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
	純資産	83	146	154
	総資産	412	572	512
	売上高	731	740	582
	営業利益	86	78	26
	経常利益	87	79	23
	当期利益	50	51	17

### 3. 異動の日程

(1)	みなし連結除外日	2025年4月1日(予定)
-----	----------	---------------

### 4. 今後の予定

上記に記載の通り、常盤ゴムは当社の連結子会社から除外されることとなりますので、同社の業績・財政状況は当社の連結業績・連結財政状況から控除される見込みです。現時点での予定では、2026年3月期首（2025年4月1日）から連結除外する予定ですが、公表すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以上